

7350A

オペレーティングマニュアル
Genelec 7350A
Smart Active Subwoofer

GENELEC®



Genelec 7350A Smart Active Subwoofer

概要

Genelec 7350A スマートアクティブサブウーファースは極めてコンパクトな低域モニターで、ステレオおよびマルチチャンネル時の Genelec 8320A アクティブモニターおよびステレオ時の 8330A の低域再現を拡張することを目的としています。7350A は、7350A サブウーファースの SPL キャパシティが用途に合致する場合、8330A を使用したマルチチャンネル用途に使用できます。7350A は、あらゆるアナログ/デジタルオーディオミキサーと共に汎用スマートサブウーファースソリューションとして使用できます。

ドライバー

7350A には Genelec 独自の LSE™ (Laminar Spiral Enclosure™) バスレフキャビネットに格納された 205 mm の低周波ドライバーが内蔵されています。

アンプ

D クラスパワーアンプは極めて低い THD と IM 歪みの 150W を出力します。ドライバーの過負荷、アンプの熱過負荷、ドライバーの短絡の保護はアンプ回路に内蔵されています。

インストール

サブウーファースには、メイン電源ケーブル x 1、GLM ネットワークケーブル x 1、およびこのオペレーティングマニュアルが付属しています。サブウーファースに搬送中の損傷がないかどうか確認します。デバイスに記載されている電圧とご使用の地域の電源の電圧が一致していることを確認します。接続する前に、サブウーファースとモニターの電源がオフになっていることを確認します。接続が完了したら、サブウーファースとモニターの電源をオンにすることができます。

オーディオ接続

オーディオ接続にはバランス XLR ケーブルを使用します。7350A には、アナログチャンネル x 5 とアナログ LFE チャンネル入力 x 1 用の入力/出力コネクタペアがあります。また、AES/EBU デジタルオーディオ信号用の入力/出力コネクタペアが 1 基あります。

信号ケーブルをオーディオソースから XLR [IN] メスコネクタに接続します。次に、XLR ケーブルを対応する [OUT] オスコネクタから各モニターの入力コネクタに接続します。

[LFE IN] コネクタを LFE またはマルチチャンネルサウンドソースの出力 1 に接続します。

デジタルオーディオ入力 (DIGITAL IN) は、AES/EBU フォーマットのデジタルオーディオ信号を送るオスの XLR コネクタに対応します。デジタルオーディオ信号は、次のモニターまたはサブウーファース (DIGITAL OUT) にルーティングできます。AES/EBU デジタルオーディオサブフレーム A または B は、GLM ソフトウェアを使用して選択します。サブフレーム選択肢 A+B のデフォルト設定は、サブウーファースが両方のサブフレームでオーディオを再生していることを意味します。

GLM ネットワーク接続

GLM アダプターを使用して、システム内の全てのモニターとサブウーファースは GLM (Genelec Loudspeaker Manager) ソフトウェアを使用するコンピューターに接続されます (図 3 参照)。RJ45 コネクタの GLM ネットワークケーブルがこの接続用に各モニターとサブウーファースと共に供給されます。まず、GLM アダプターから 1 番目のモニターまたはサブウーファースに接続してコントロールネットワーク配線を開始します。システム内の全てのモニターとサブウーファースをデジチェーン接続します。特別な配列は必要ありません。最も簡単なコントロールネットワーク配線ルートを選択できます。

設定と自動キャリブレーション

7350A サブウーファースおよびスマートアクティブモニターは製品が取り付けられている室内音響への影響の補正に極めてフレキシブルで、GLM User Kit とソフトウェアを使用した自動設定に対応しています。7350A サブウーファースは GLM 2.0 以降に対応しています。

GLM ソフトウェアは Genelec ウェブサイト (www.genelec.jp/glm) からダウンロードできます。GLM 2.0 User Kit はセットアップに必要です。User Kit には GLM Adapter と GLM 測定マイクが含まれています。

GLM Adapter はコンピューターの USB ポートから GLM ネットワークに接続します。7350A が唯一のスマートデバイスである場合、GLM アダプターのみがサブウーファースに接続されます。GLM 測定マイクはリスニング位置に配置します。

GLM ソフトウェアで設定プロセスを実行してモニターとサブウーファースおよび他のスマートデバイスを GLM ネットワーク上のシステムとして配置、設定します。キャリブレーション後、コンピューターをそのまま接続した状態におき設定を維持するか、GLM 2.0 ソフトウェアを使用してサブウーファースに設定を保存します。

ISS™ 自動スタート機能

ISS™ (Intelligent Signal Sensing™) は、スタンバイ時の電力消費を 0.5 ワット以下に抑えます。

ファクトリーデフォルトでは、ISS 機能はオフになっています。ISS 機能は、GLM ソフトウェアの [ISS Power Saving] (ISS 省電力) プルダウンメニューをクリックして設定できます。このメニューではさらにスタンバイ状態に入るまでの時間も選択できます。再生は入力信号が検出されると自動的に再開されます。再生が再開されるまでにわずかな遅延が生じます。

室内の配置

サブウーファースの配置は周波数特性とサウンドレベルに大きく影響します。低周波帯域では、室内音響への影響は強くなります。サブウーファースの位置をわずかに変更しただけで大きな違いが生まれます。配置は周波数特性、モニターとサブウーファースの間の位相の差異、サブウーファースのロールオフレートに影響します。

サブウーファースは、床の上に、部屋の中央線から若干ずらして、前方の壁際に配置します。前方の壁からの距離がサブウーファースのドライバーから 0.6 m 未満になるようにします。壁に近づけると、音響出力と最大サウンドレベルが上がります。壁からの距離が大きくなると、音響キャンセレーションが生じ、サブウーファースの出力が下がります。

サブウーファースを若干左または右に動かすと、周波数特性のフラットさが向上することがあります。サブウーファースを部屋の隅の近くに配置すると、低域のレベルがブーストされますが、低域のサウンドイメージが非対称になることがあります。

できるだけフラットにするには、GLM を使用してサブウーファースの周波数特性を自動キャリブレートします。ご使用のモニターがスマートモニターである場合、GLM は出力レベルとクロスオーバー位相をモニターに相対させて自動調整します。

壁やその他の物体からの最小隙間

サブウーファースのドライバーを覆わないでください。ドライバーグリルの前に少なくとも 10 cm の隙間を設けてください。

サブウーファースの下に厚みのあるカーペットを敷くと換気が妨げられる場合があります。

十分なバスレフシステムのサウンド出力を確保するには、バスレフポート (コネクタパネルの

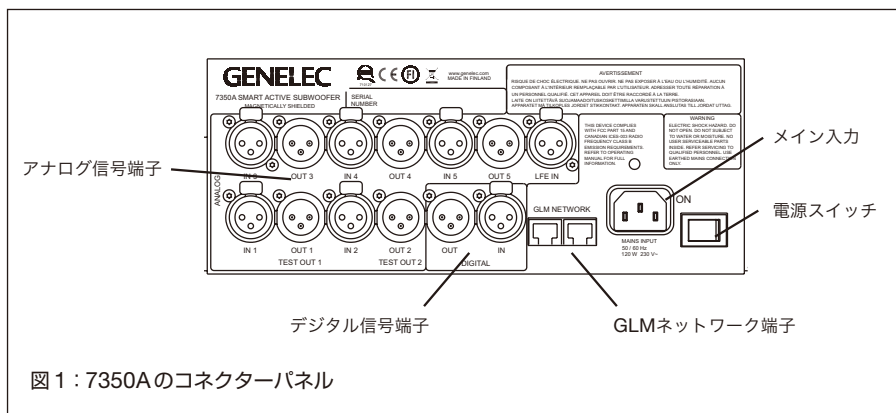


図1：7350Aのコネクターパネル

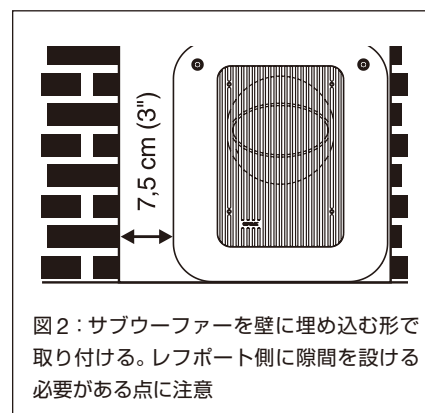


図2：サブウーファーを壁に埋め込み形で取り付ける。レポート側に隙間を設ける必要がある点に注意

反対側にあります)に少なくとも7.5 cmの隙間が必要です。

サブウーファーを壁に埋め込み形で取り付ける

サブウーファーが壁やキャビネット内部に埋め込み形で取り付けられている場合、アンプが十分に冷却され、バスレフポートからの空気の流れが妨げられないようにする必要があります。サブウーファーと凹部の間に少なくとも7.5 cmの隙間を設けてください。サブウーファーはドライバーが部屋の方向を向いている状態で凹部の右側に取り付けます。こうすることでバスレフポートに十分な空間を設けることができます。凹部の高さと同様、サブウーファーが納まるぴったりの大きさになっていなければなりません。

安全性についての検討事項

Genelec 7350A サブウーファーは国際安全基準に準拠するようデザインされていますが、安全な動作を確保し、ユニットを安全な動作条件下に保つため、以下の警告と注意を順守する必要があります。

- ・ 保守および修理を認定サービス以外の者が実施してはいけません。サブウーファーキャビネットまたは電子装置を解体してはいけません。
- ・ アースのない電源ケーブルまたはアースなしの電源接続を用いてサブウーファーを使用してはいけません。人身傷害の原因となることがあります。
- ・ サブウーファーを水または湿気に曝さないでください。花ビンなど液体で満たされた物体をサブウーファーの上や付近に置かないでください。
- ・ このサブウーファーは85 dB SPLを上回る音圧レベルを生成できますが、このレベルは聴覚に恒久的な損傷を与える場合があります。
- ・ 十分な冷却を保つため、サブウーファーの背後

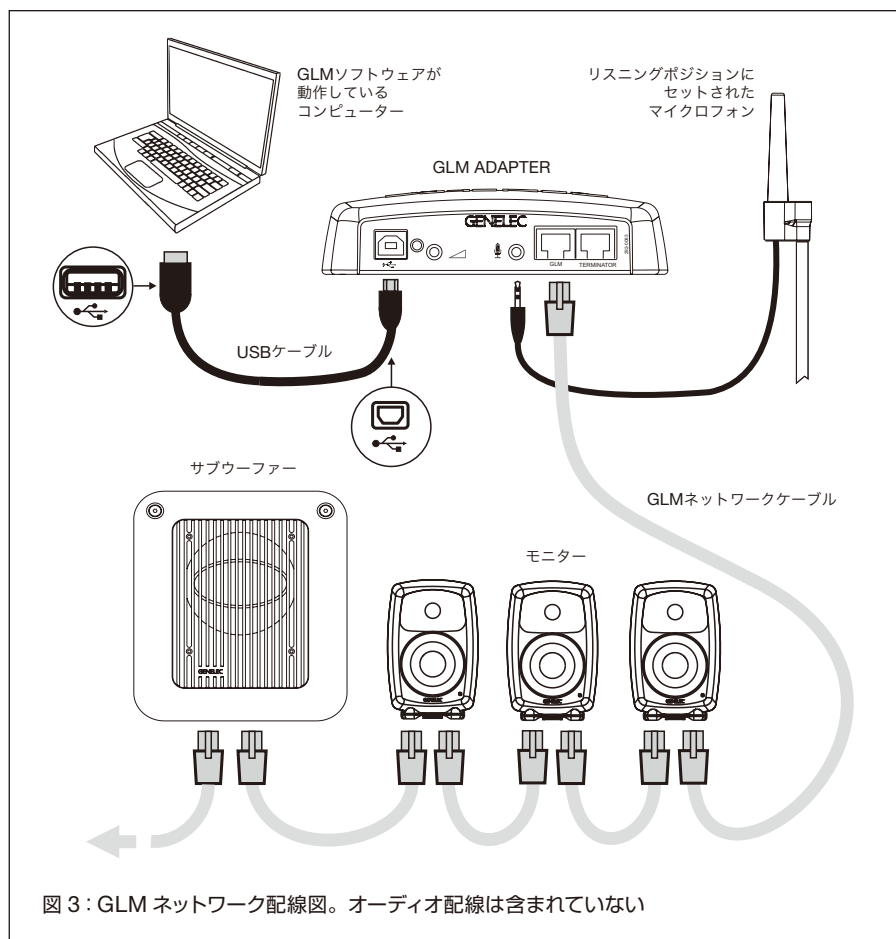


図3：GLM ネットワーク配線図。オーディオ配線は含まれていない

および周囲で空気が対流している必要があります。サブウーファー周辺の空気の流れを遮らないようにしてください。

- ・ アンプは主電源コードがアンプまたは電源コンセントから取り外されていない場合はAC電源から完全には接続解除されません。

警告！

このサブウーファーは85 dBを上回る音圧レベルを生成できますが、このレベルは聴覚に恒久的な損傷を与える場合があります。

メンテナンス

サブウーファー内部にオーナー自身で点検修理が可能な部分はありません。ユニットの保守を認定サービス以外の者が実施してはいけません。

保証

この製品には、ユニットの性能に変化を与える可能性のある製造上の過失や不具合に対して、2年の保証期間が付帯します。販売条件および保証条件について詳しくは販売店にお問い合わせください。www.genelec.jp/customer-service/よりモニターをご登録ください。これにより3年の延長保証(トータル5年保証)が受けられます。

7350A 操作マニュアル

システム仕様

	7350A
フリー空間周波数特性 -6 dB メインチャンネル -6 dB LFE チャンネル	22 - 100 Hz 22 - 160 Hz
30 ~ 85 Hz を平均した短期正弦波最大音圧出力、軸上、半空間、1 m で計測。	≥ 104 dB
残留ノイズレベル、半空間、軸上、1 m (A 特性)	< 5 dB
高調波歪み、90 dB SPL、軸上、1 m、半空間、30... 85 Hz 2 次 3 次	≤ 4 % ≤ 1 %
ドライバー、防磁シールド	205 mm
質量	19 kg
外寸 高さ 幅 奥行き	410 mm 350 mm 319 mm

シグナルプロセッシング

	7350A
サブソニックフィルター (18 dB/オクターブ)	20 Hz
LFE カットオフ周波数	150 Hz
ミッドバンド除去 >400 Hz	≥ 50 dB
GLM ソフトウェア AutoCal ツール パラメトリックノッチフィルター ディレイ調整 レベル調整	20 160 ms 60 dB

FCC 規則への準拠

本製品は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。動作は次の 2 条件に基づきます。

本機器が有害な妨害の原因とならないこと、および本機器が不要な動作の原因となる妨害を含むあらゆる妨害を受信すること。

注：本装置は、テストの結果 FCC 規則のパート 15 に従い、クラス B のデジタルデバイスの制限を遵守していることが確認されています。これらの制限は、住宅に設置するに当たり有害な妨害に対する適切な保護を提供することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、放射しており、指示に従わずに設置または使用された場合、無線通信への有害な妨害の原因となる場合があります。ただし、特定の場所に設置することによって妨害が発生しないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信の有害な妨害の原因となる場合は（装置電源をオン・オフすることで確認いただけます）、以下の対策を 1 つ以上行って妨害を正すことをおすすめします。

- ・ 受信アンテナの向きまたは場所を変更する。
- ・ 装置と受信機の距離をさらに空ける。
- ・ 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに装置を接続する。
- ・ 取扱店または経験豊富なラジオ技術者またはテレビ技術者に相談する。

製造者によって明示的に許可されていない変更を行うと、装置を操作する権限が無効になる場合があります。

Genelec ドキュメント D0116R002aJP Copyright Genelec Oy および株式会社ジェネレックジャパン 2019 年 12 月 全てのデータは予告なく変更する場合があります。

www.genelec.jp

GENELEC®

株式会社ジェネレックジャパン
＜本社＞
107-0052
東京都港区赤坂二丁目 22 番 21 号
電話番号：03-6441-0591

＜長野オフィス＞
381-0201
長野県上高井郡小布施町小布施 1497-2
電話番号：03-6441-0591

修理お問い合わせ先
＜ジェネレックサービスセンター＞
電話番号：050-3786-1236
平日 10:00 ~ 18:00
(夏季/年末年始休業を除く)

修理のご依頼は、お電話または修理依頼フォームがご利用いただけます。修理依頼フォームは、Web サイトのカスタマーサービス内にご用意しております。
www.genelec.jp/customer-service/

アンプセクション

	7350A
アンプ瞬間出力 (長時間出力はドライバーユニット保護回路により制限)	150 W
アンプシステム THD (通常出力時)	≤ 0.005 %
電圧	100、120、230 V
消費電力 (平均) スタンバイ (ISS 有効) 待機 フル出力	< 0.5 W 8.5 W 150 W

接続

アナログ	7350A
入力/出力コネクター、XLR メス/オス LFE 入力コネクター、XLR メス	5 / 5 1
ピン配列 ピン 1 ピン 2 ピン 3	gnd +(反転なし) +(反転)
入力インピーダンス	10 k Ω、バランス
入力レベル (100 dB SPL 出力 @ 1 m)	-6 dBu (GLM ソフトウェア内で変更可能)
出力ゲイン	0 dB

出力コネクターは信号の未フィルターのコピーを対応する入力コネクターへ伝送します。

デジタル	7350A
入力/出力コネクター、XLR メス/オス	1 / 1
信号フォーマット	AES/EBU シングルワイヤ
デジタルオーディオ ワード長 サンプルレート	16 - 24 bits 32 - 192 kHz

GLM ネットワーク	7350A
入力/出力 RJ45	1 / 1